

25年度 氷見市教育総合センターだより 第3報

メールアドレス kyouikukenkyu@city.himi.lg.jp

ホームページアドレス <http://www.city.himi.toyama.jp/hp/menu000000500/hpg000000416.htm>

第 1 回生徒指導主事等研修会 (第 2 回いじめ対策研究委員会)

期日 7月4日(木)

講師 西部教育事務所

主任生活指導主事 白江 日呂雄 先生



「いじめ防止と解消のために」と題して、教員用リーフレット『いじめの防止と解消のために』（富山県教育委員会平成 25 年 3 月発行）の活用について講話をしていただきました。後半は、インシデント・プロセス法を用いた演習を行い、短時間で事例検討をする方法についてご教示いただき、明日からの実践への意欲につながる研修会となりました。

教員向けリーフレット『いじめの防止と解消のために』（講義プレゼン資料）より

リーフレットを活用した校内研修を行い、教師の指導力向上・学校の対応力向上を図る。

○いじめの理解……いじめ理解のテキストとして利用

・未然防止、早期発見・早期対応、いじめの被害者や加害者への対応

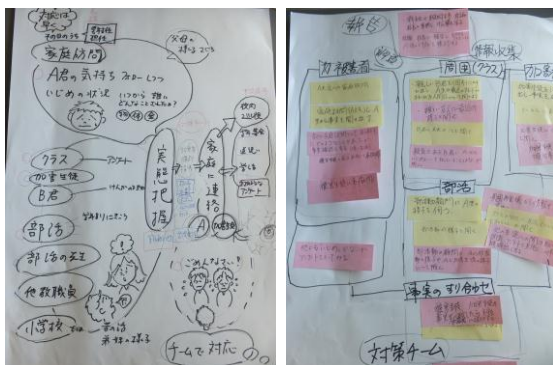
○事例検討会……対応の流れとポイントの参考として利用

・よりきめ細かな対応、実際のいじめ事案への応用

○未然防止の取組…取組のための指針として利用

・連携の視点、学級運営、教職員の気付き、教師の人権感覚 等

インシデント・プロセス法で班ごとに まとめたワークシート例



いじめの事例にみる対応の流れのポイント (速やかな初期対応の体制づくり) より

○事実関係の正確な把握

・ 5W1H(いつ、どこで、誰が、何を、なぜ、どのように)を、時系列でまとめる。

○チームによる組織的対応

・ チームを編成し、組織的に対応する。
・ 家庭訪問や聴き取りは複数の教師で行う。
・ 外部との対応窓口の一本化を図る。

○保護者との信頼関係の構築

・ 直ちに家庭訪問を行い、誠実に対応する。
・ 事実に基づいた正確な情報を伝える。

参加者の声

- ・ 事例を基に、現場での対応について改めて考えることができた。組織としての素早い対応が必要で、日頃から準備することの大切さを再認識した。(小)
- ・ 初期対応を間違えると後々まで対応が難しくなり、解決が遅れてしまう。当たり前のことであるけれど、だからこそ、心にしっかり留めておかなければならないと感じた。(小)
- ・ 即日対応、複数で対応、職員間でのずれのない共通理解した形での指導など、いじめに限らず様々な場面で意識していきたいことばかりであった。(中)



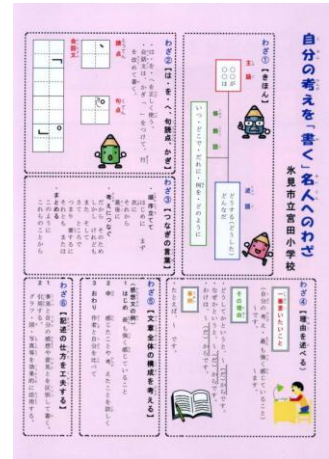
関わり、高め合う学びをつくる

－豊かな言語活動に支えられた、思考力・表現力の育成を目ざして－

氷見市立宮田小学校

昨年度は、算数科と国語科の学習を中心に、「関わり、高め合う学びをつくる授業」を目指して取り組んできた。朝のチャレンジタイムで、音読・朝読書・視写等の活動とともに、家庭学習の習慣化を図るため、「宮田っ子チャレンジBOOK」（がんばりカード集）等を活用し、「自主学习ノート」や「ノーゲームデー」等を、家庭と連携して行ってきた。その結果、子どもには、基礎的な学力や落ち着いて取り組む学習態度が身に付いた。また、自分の考えを図や式、言葉で表現したり、友達の考えを聞いたりして、「分かった」と実感する姿が見られるようになった。しかし、全国学力・学習状況調査等の結果からは、互に関わりながら思考を深めることに課題があることが明らかになった。

そこで、これまでの活動を継続するとともに、今年度、下記の方策を追加し、普段の授業のレベルアップを図ることにした。



<自作下敷き>

<学力向上への取組>

1 普段の授業のレベルアップ

- (1) 「宮田小の授業」を作成し、教師に必要な理念や教師としての心構え、授業で大切にしたいこと（1限目の授業開始時刻の厳守など）の共通理解を図った。
- (2) 「宮田小学習のルール」を見直し、机上の学習用具の置き方、ノートの書き方、姿勢等について、共通理解を図った。
- (3) 「自作下敷き」を改訂し配付した。子どもたちは、考えを書くときの技やノートづくりのポイントを意識しながら学習している。
- (4) 学級担任と教頭、教務主任、学習サポーター等が協力して行うティームティーチングを増やした。基礎的な知識や技能の定着に結び付いている。
- (5) 学期末に子どもに「授業アンケート」（学習意欲及び成就感を評価）を実施する。結果を基に日々の授業の充実と改善を図る。
- (6) 12月にCRT調査を実施する。調査結果を分析し、正答率の低い問題を中心に、それらの原因や理解のための手立てを検討し、授業改善と補充学習を実施する。

2 校内研修会の活性化と効率化を促す

次に示すように3部会を設置し、部会責任者を若手教員とし、ミドルリーダーの育成を図るようにした。

部会構成	授業づくり部会	指導案の形式、研究授業の成果と改善点の確認、電子黒板の活用法等
	環境づくり部会	学習ルールの検討、下敷きの改訂、チャレンジBOOKの見直し等
	評価改善部会	学習意欲や成就感についてのアンケートの作成、全国学力・学習状況調査・CRT等の分析と授業の改善

- (1) 研究授業の指導案を1ページ程度にしている。簡略化によって捻出した時間を子どもへの指導時間に充てている。
- (2) 「リレー研修」を実施し、研究授業での成果や課題を次回の研究授業に引き継ぎ、研修が深まるようにしている。



西部中学校区の3小学校合同体育の授業の様子と北部中学校区の吹奏楽部による3小学校訪問演奏会の様子を紹介します。

西部中校区小学校合同体育 ～～明和小、速川小、久目小の6年生、西部中体育教師～～

- ・ねらい 中学校体育教師から専門的な指導を受け、ハードル走の技術や走力の向上を図る。3校合同の授業を通して互いに競い合い高め合うとともに、児童同士の交流を深め、中学校入学への段差の減少を図る。
- ・期 日 5月15日 5限
- ・場 所 速川小学校グラウンド

<児童の感想>

- ・3つの学校が集まって練習することは初めてだったけれど互いに競争心が生まれて熱心に練習に取り組みました。参加してよかったです。連合体育大会では自信をもってハードル競技に参加できました。(明和小)
- ・思い切って跳ぶと先生にほめられました。余り得意でないハードルが少し好きになりました。堀田先生に教えていただいたことを思い出しながら学校に帰ってから練習すると、タイムが3秒縮まりました。(明和小)
- ・一番難しかったことは、足の裏を見せるようにして振り上げ、ハードルの端を飛び越えることです。堀田先生に沢山こつを教えてもらったので練習に生かして頑張りたいです。(速川小)
- ・合同体育では友達が沢山いたので、いつもより体育が楽しくできました。(速川小)
- ・明和や速川の友達は上手に跳んでいました。堀田先生に教えてもらおうと前足が伸びて上手に跳べるようになりました。どんどん跳ぶとタイムがよくなりました。本番ではもっとタイムが伸びるように教えてもらったことを生かして頑張ります(久目小)
- ・ハードルに足がぶつかってばかりいたけれど、だんだんぶつからなくなってきました。教え方が分かりやすくてうれしかったです。(久目小)



吹奏楽部小学校訪問演奏会 ～～比美乃江小、上庄小、海峰小、北部中吹奏楽部～～

- ・ねらい 吹奏楽部員が各小学校を巡回し、楽器の紹介や演奏披露などを通して、小学校との交流を図る。
- ・期 日 5月24日(金)
- ・会 場 海峰小 → 上庄小 → 比美乃江小

<児童・生徒の感想>

- ・ぼくが一番好きだった曲は「ルパン三世」でした。どの曲も迫力があり体育館に響いていました。一番好きだった楽器はトロンボーンです。本物を見られてとてもうれしかったです。(上庄小3年)
- ・演奏はとても迫力があり、思わず鳥肌が立つほど素晴らしかったです。吹奏楽部の人は皆顔が明るく元気ではきはきしていたので、見ていて楽しくなりました。(海峰小6年)
- ・心を込めてきれいに演奏していたので声も出ない程感動しました。楽器の紹介では、知らない楽器が沢山あり、細かい解説もあって、とてもわかりやすかったです。(比美乃江小6年)
- ・最後の曲のメドレーが一番印象に残っています。その中で「当たり前体操」が印象的でした。僕たち金管クラブも吹奏楽部の皆さんの演奏した曲に負けないように必死に頑張りたいと思います。(比美乃江小6年)
- ・本番までうまくいくか心配でしたが、演奏しているときに小学生の笑顔が見られた瞬間そんな気持ちが一気に吹き飛び、頑張っ練習してきてよかったと心から思いました。(北部中3年)
- ・心に残ったことが2つあります。一つ目は私たちが演奏しているときの小学生の笑顔です。音楽は人を楽しませることができるのだと改めて実感できました。二つ目は心を一つにして演奏することの素晴らしさです。みんなで助け合い協力して演奏できてよかったです。(北部中3年)



ALT シンシアさん、ローレンさん ありがとうございました

英語や外国語活動で指導していただいたALTのシンシアさん（3年間）とローレンさん（1年間）が、7月末に帰国しました。二人からメッセージをいただきましたので紹介します。

シンシア・ヘレンディーンさんの言葉

I can't believe I am leaving Himi after three great years here. First, I want to say thank you to everyone, especially the teachers at all of the schools and the staff of the Board of Education office. You helped me when I didn't understand something and you treated me kindly even when my Japanese wasn't very good. I feel very lucky to have met so many friendly people!

During my three years as an ALT I visited all of the Junior High and Elementary Schools in Himi. Now, wherever I go in town, I see students I taught. I love hearing kids say, "Hello, シンシア先生! I've loved teaching but I also loved seeing the students outside of the classroom. I cheered at sporting events, I watched musical performances, and I enjoyed festivals with them. I learned so much about Japan and Japanese schools. I hope that someday my students will get a chance to travel around the world and learn about other cultures firsthand.

Himi has been my home for three years. I will never forget it. Good-bye for now, hopefully we can meet again! Thank you very much!



ローレン・シュウェグラさんの言葉



Hello, Himi! It has been almost a year since I came to Himi. Time has passed quickly. It is already July again and time for me to say good-bye. I have many things to thank you for. I'm lucky to have spent my year in Himi. The teachers, students, and people of Himi have been very kind to me. I will miss people coming up and talking to me when I go grocery shopping. I will miss Himi's beautiful ocean, parks, and mountains. I will miss Himi's delicious *buri* and beef.

Most of all, I will miss working at Himi schools. I loved playing with kids at Elementary Schools. I enjoyed trying to talk to Junior High School students in Japanese and English. Thanks to students, I have many stories to tell Americans when I return home. I know foreign languages are difficult, but please keep trying! I will also continue to study Japanese in America. Thank you for an amazing and invaluable experience.